

12日(日)
夜の部

一、清元
「青海波」



にしかわ まいほう
西川 舞鳳

幼少より母・西川喜重郎に手ほどきを受け、後に正派西川流代表西川喜鳳に師事。義母となる西川喜鳳のもと、地元船橋にて日本舞踊の普及、発展に努める。義姉西川千香鳳と共に「千舞会」主宰。千葉県主催日本舞踊公演などに多数出演。千葉県支部役員。



はなやぎ きょうみ
花柳 杏久美

幼少より花柳杏葉に師事。協会千葉県支部主催公演に出演する他、千葉県支部成田国際空港公演、国民文化祭、千葉県文化フォーラムなどに多数出演。令和元年より千葉県支部副支部長を務める。



ばんどう きょうひろめ
坂東 京弘女

坂東流師範名取。坂東会理事。十代目坂東三津五郎(当時八十助)主宰の八十助塾で踊りを学ぶ。同じく十代目坂東三津五郎主宰坂東流青年部卒業。現在はむげんの会に所属。小学校における舞踊教育の講師や地域での普及活動に努める。京弘女の会を主宰。



ばんどう ひふみ
坂東 一二三

祖母・坂東三代親、母・坂東三津伎に師事。一門の勉強会「朗誦会」並びに習志野市日舞連盟会長として「翔舞会」を主宰。長年に渡る舞踊教育を認められ、平成28年度習志野市教育功労者として表彰を受ける。十代目坂東三津五郎の時分より坂東会役員として従事。



ふじま かんすが
藤間 勘寿娥

藤間松寿郎、豊之助に師事。「藤娥会」主宰。「舞葉会」同人。協会千葉県支部公演、日本舞踊×能楽のレクチャー公演など多数出演。若手育成に注力し、次世代につながる公演を催すほか、小学校日本舞踊体験教室など普及に努め、市より功労賞を2度受賞。千葉県邦楽邦舞文化協会副会長。



ふじま ろくひで
藤間 緑英

幼少より母・藤間裕康に手ほどきを受け、後に藤間志緑に師事。その後、藤間多寿に師事。「英会」主宰。青少年の日本舞踊普及に努める。協会千葉県支部公演や東京、大阪、京都などの舞台公演に出演。千葉県支部役員。



まつもと ゆきまり
松本 幸万里

幼少より松本幸女に師事。協会千葉県支部公演に出演する他、国民文化祭などに出演。英語力を生かし、千葉県支部成田国際空港全公演の司会を務める。松本流一門会・松鸚会に多数出演。船橋市日本舞踊連名役員。寿まの会主宰。協会千葉県支部役員。



わかやぎ ゆきすけ
若柳 順助

若柳壽延に師事。協会千葉県支部主催公演に出演する他、若柳流主催公演等、様々な舞台に出演。門下師範・名取を輩出し、数年に一度、自身が主催する「順乃会」舞踊公演を開催する。令和元年より千葉県支部副支部長を務める。

二、長唄
「大津絵藤娘」



いずみ ひであやか
泉 秀彩霞

幼少より泉秀弘に師事。後に泉幸霞、泉翔蓉、二世泉徳右衛門に師事。日本大学大学院芸術学研究科修士課程修了。協会主催公演や文化庁学校巡回公演などに出演。「キッズ伝統芸能体験」講師。新春会長賞、大会賞などを受賞。



はなやぎ しずこほみ
花柳 寿紗保美

東京藝術大学日本舞踊専攻卒業。協会主催公演、国立劇場主催公演、松竹主催歌舞伎公演などに出演。子供伝統芸能教室や「伝統文化理解教育」の講師を務める。主な受賞に全国舞踊コンクール文部科学大臣賞、東京都知事賞、新春会長賞、大会賞、奨励賞。



わかやぎ きょうこ
若柳 杏子

幼少より日本舞踊を始め、平成22年より若柳公子に師事。日本大学芸術学部卒業。卒業制作作品に於いて学部長賞、川野希典賞を受賞。協会主催公演や国立劇場主催公演などに出演。新春最優秀賞、大会賞、東京新聞全国舞踊コンクール文部科学大臣賞を受賞。

「越後獅子」



泉 秀樹
いずみ ひでき

泉流三代目家元。二代目泉徳右衛門に師事。平成26年に三代目家元継承、協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演などに多数出演。「キッズ伝統芸能体験」講師を務めた。桜美林大学非常勤講師。新春最優秀賞、奨励賞を受賞。



藤間 仁凰
ふじま じんおう

藤間章江、藤間仁章に師事。協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演などに出演。子供向け体験事業で講師を務めるほか、「弧の会」同人としても各地で公演活動やワークショップを行う。新春会長賞、「弧の会」同人として文化庁芸術祭優秀賞などを受賞。



藤間 涼太郎
ふじま りょうたろう

藤間紋寿郎に師事。平成18年四代目尾上松緑門弟となり歌舞伎俳優として活動。後に舞踊家に転身。協会、国立劇場主催公演、文化庁学校巡回公演などに出演。「キッズ伝統芸能体験」講師。新春最優秀賞、東京新聞主催全国舞踊コンクール文部科学大臣賞、東京新聞日本舞踊新鋭賞などを受賞。

三、長唄 「孫悟空」



林 千永
はやし ちえ

林流千永派家元。協会、国立劇場主催公演などに出演するほか、リサイタルやライブ公演なども主宰。演劇、オペラの振付も手掛ける。国際交流基金などの海外公演にも参加。東京支部城北ブロック副ブロック長。昭和58年度芸術選奨文部大臣新人賞、昭和62年度、63年度文化庁芸術祭賞、新春会長賞、大会賞など受賞。



藤間 章吾
ふじま しょうご

母・藤間章豊、後に藤間秀嘉に師事。協会、国立劇場主催公演等様々な公演に出演。海外での公演にも積極的に出演している。劇団俳優座演劇研究所講師。「弧の会」同人として文化庁芸術祭優秀賞受賞、舞踊批評家協会新人賞。



泉 徳保
いずみ とくひさ

泉流初代宗家・二代宗家泉徳右衛門に師事。「松濤會」「徳保の会」を主宰。協会主催新春受賞者による特別公演や国立劇場主催公演などに出演。新春会長賞、大会受賞。「弧の会」同人として文化庁芸術祭優秀賞、舞踊批評家協会新人賞を受賞。



松島 金昇
まつしま きんしゅう

8歳より父の手ほどきを受け舞踊修行を始める。その後、藤間藤子に師事、また多数の歌舞伎役者との共演を通じて指導を受ける。二十二歳で、六代目家元を襲名。坂東玉三郎舞踊特別公演や協会主催公演等にも多数出演。東京支部城北ブロック副ブロック長。



旭 七彦
あさひ ななひこ

8歳より若柳流、尾上流、葵流を経て、学生時代より葵七彦として活躍。昭和54年旭流創流。協会主催公演他獅子の会「集団日本舞踊21」創作舞踊展「人情おどり座」金曜赤坂座等に参加。文化庁、東京都派遣等海外公演にも多数参加。振付家としても活躍。慶應義塾大学卒業。平成6年度文化庁芸術祭賞受賞。



藤間 仁章
ふじま じんしょう

母・藤間章江・藤間章作に師事。協会主催公演、藤間流公演に出演するほか、藤間仁章リサイタルなど主宰、振付も行う。「伝統芸能の普及を目的として」NPO法人むさしの我夢之会を設立。主な海外公演はアメリカ・ドイツ・韓国等。主な受賞に新春大会賞、文化庁芸術祭優秀賞など。



花柳 寿美柚里
はなやぎ すみゆり

幼少より三代目花柳寿美に師事。協会主催新春舞踊大会や未来座公演等に出演。地元千葉県船橋市に於いて「はじめての舞踊教室」や船橋学園東葉高等学校ダンス部の講師を務めるなど日本舞踊の普及活動にも取り組む。



花柳 基紫瑞
はなやぎ もとしずい

8歳より花柳紫瑞に師事。上京を期に18歳より花柳基に師事。日本大学芸術学部演劇学科日舞コース卒業。協会主催公演や東京支部城東ブロック公演などに出演。新春大会賞、奨励賞受賞。



藤間 聖衣曄
ふじま せいいか

祖母・藤間聖章に師事。協会主催公演や東京支部城西ブロック公演などに出演。「キッズ伝統芸能体験」「伝統文化理解教育」、中野区日本舞踊連盟・中野ZERO共催子供向け教室の講師を務める。新春奨励賞受賞。



まつしま しより
松島 昇子

幼少より父・六代目松島金昇に師事。協会主催未来座公演等に出演。東京都立忍岡高等学校校特別専門講師として学生に指導するほか、北区子ども文化教室講師として区の日本舞踊の普及に携わる。

四、地歌「由縁の月」
月二題



やまむら ともよし
山村 友五郎

山村流六世宗家。大阪発祥山村舞の維持継承に努め、文献や錦絵から流祖所縁の演目を復元する等振付も多く手がける。協会理事。三代目・友五郎襲名披露会の成果として日本芸術院賞を受賞。主な受賞に芸術選奨文部科学大臣賞及び新人賞、文化庁芸術祭優秀賞、花柳壽應賞新人賞など。令和2年春の紫綬褒章受章。

「残月」



いのうえ やちよ
井上 八千代

京舞井上流五世家元。祖母・四世家元に師事。平成12年に五世家元として井上八千代を襲名。祇園甲部の「都をどり」の振付指導にもあたる。ジャポニスム2018日本舞踊フランス公演に出演。芸術文化勲章シュヴァリエを受章。協会常任理事。日本芸術院賞受賞、紫綬褒章受章など多数受賞。日本芸術院会員、重要無形文化財保持者（人間国宝）認定。

五、常磐津「乗合船恵方萬歳」



にしかわ みのすけ
西川 箕乃助

父・十世宗家西川扇藏に師事。「西川箕乃助の会」主宰。「五耀會」同人。西川流に伝わる古典舞踊、十世扇藏振付作品の伝承に努める一方、自身の創作作品も多数発表。また外国人への日本舞踊の啓蒙活動等を国内外で開催。協会常任理事。協会東京支部長。日本芸術院賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣賞、令和四年春の紫綬褒章、花柳壽應賞新人賞などを受賞。



ふじま かねえもん
藤間 勘右衛門

初代尾上辰之助（三世尾上松緑追贈）の長男。平成元年藤間流家元。六世藤間勘右衛門を襲名。歌舞伎俳優。四代目尾上松緑、流儀の会を主宰するほか、協会、国立劇場主催公演などに多数出演。協会常任理事。主な受賞に芸術選奨文部科学大臣新人賞、国立劇場特別賞、眞山青果賞新人賞、花柳壽應賞新人賞など。



なかむら うめゆ
中村 梅 彌

中村流八世家元。七世中村芝翫、二世藤間勘祖に師事。歌舞伎の振付やテレビ・映画などの所作指導を担当。協会、国立劇場主催公演に出演するほか、「中村梅彌の會」を主宰。東京博多などでワークショップ「梅の手習ひ」を開催。協会理事。主な受賞に日本芸術院賞、文化庁芸術祭優秀賞、舞踊批評家協会新人賞。



わかやぎ きちそう
若柳 吉 蔵

若柳流五世宗家家元。二代若柳寿童の三男。昭和62年、古蔵を襲名し、平成9年に五世宗家家元となる。古典や創作舞踊を手掛けるほか、近年は他流の若手との共演にも挑戦。京都・宮川町「京おどり」の振付、指導にも担当する。協会関西支部京都滋賀ブロック長。文化庁芸術祭優秀賞、京都府文化賞功労賞、花柳壽應賞新人賞などを受賞。



おのえ しずこ
尾上 紫

尾上流三代目家元尾上菊之丞（現・墨雪）の長女。六世藤間勘十郎にも師事。協会、国立劇場主催公演に多数出演するほか、自身のリサイタルを主宰し、万博などの海外公演にも参加。女優としても舞台、映画、テレビ等に出演。主な受賞に花柳壽應賞新人賞、新春会長賞、舞踊批評家協会新人賞など。



はなやぎ そのきすけ
花柳 園喜輔

日本大学芸術学部卒業。協会主催公演等に出演するほか、国際交流基金や東京都文化振興会等の派遣にて海外公演に参加。リサイタル「園喜輔の会」や「拓の会」、「日本の音楽と舞踊の魅力を探る会」等を開催。東京支部城北ブロック長。文化庁芸術祭賞、同優秀賞、新春大会賞、舞踊批評家協会賞などを受賞。



ふじま しずこ
藤間 紫

幼少より祖母・初世藤間紫に師事。7歳で祖母と共に歌舞伎座にて初舞台。日本舞踊協会主催公演や新作公演など多数出演。令和3年紫派藤間流家元・三代目藤間紫を襲名。令和4年1月国立大劇場において襲名披露公演を開催。また女優としては本名・藤間爽子で舞台やドラマ等で活動している。



あづま かんは
吾妻 寛穂

初代、二代目吾妻徳穂に師事。協会、国立劇場主催公演等に出演するほか、リサイタル「寛穂の会」、奏舞同人「くるまぎ」を主宰。モンゴル国との文化交流によりモンゴル国政府より優秀文化功労者賞、北極星勲章叙勲。主な受賞に外務大臣表彰、新春特別賞、二度の文化庁芸術祭優秀賞など。